

受験対策・規則性①

同じ長さのマッチ棒を用いて、下の図のように、一定の規則にしたがって、1番目、2番目、3番目、...とマッチ棒をつなぎ合わせて図形をつくらせていく。用いたマッチ棒の数は1番目では4本、2番目では12本、3番目では24本である。

- ① 5番目の図形をつくるには何本のマッチ棒が必要?
- ② 14番目の図形をつくるには何本のマッチ棒が必要?
- ③ n 番目の図形をつくるには何本のマッチ棒が必要か、 n の式で表そう。

